

ラフティング体験

IN 吉野川

活動日時： 7月30日(日)

活動プログラム：

午前	集合・あいさつ	おはようございます。今日は絶好のラフティング日和だね。暑い中、吉野川を下って、気持ちよく、そして楽しい一日にしよう！！
	移動	ラフティングは午後からだから、午前中は近くの公園で友達と仲良くなる時間を設けるよ。色々楽しそうな遊具があるね。特に山型のトランポリンはとても楽しいね。
	昼食	日陰がとても涼しいね。この暑さで川に入ると気持ちいいだろうね。早く川下りがしたいね。昼食を済ませて、トイレも済ませたらラフティングの場所へ出発！！
午後	ラフティング体験	今回は「エバグリーン」さんにお世話になるよ。インストラクターの方からボートの漕ぎ方や、注意事項をしっかりと聞いたら川下り出発！！序盤は急流がないから途中川に入ることが出来るよ。とても気持ちが良いね。 中盤からいくつか急流ポイントが現れてきたよ。みんなで協力して、声を出し合って、乗り切ろう！！水しぶきが気持ちいい！終盤に向けて頑張っていこう！！
	解散	ゴールが見えてきたね。最後に存分に川で遊ぼう。私達の家の近くの川と違って、とてもキレイだね。また来年もラフティングを楽しもうね。まったねえ～。



<全体感想>

昨年に比べ、たくさんの方にご参加いただきました。本当にありがとうございます。ラフティングは清流、激流をボートで下るので、場所によってはインストラクターの知識、知恵、経験が大いに必要となります。今回、私が乗船したボートの担当者は川の地形を非常に熟知されており、「楽しさと怖さ」を知っておられました。ボートを巧みに操り、敢えて岩礁や岩壁にボートを接触させ、我々は興奮と楽しさを体験できました。「楽しさ」を追求する事は非常に大切です。しかし、『怖さ』を知らないと、それはただの無鉄砲で万一何かが起きた時、対応が出来ません。怖さを知っているからこそ、そこに対策が生じ、万一の事が起こらないよう楽しさを提供出来ます。私達の活動も楽しさを第一に置いていますが、その裏の“怖さ”をより追求し、リスクマネージメントを上げていかなければならないと改めて考えさせられました。 (竹中 哲郎)